

JICE REPORT 第45号

表紙

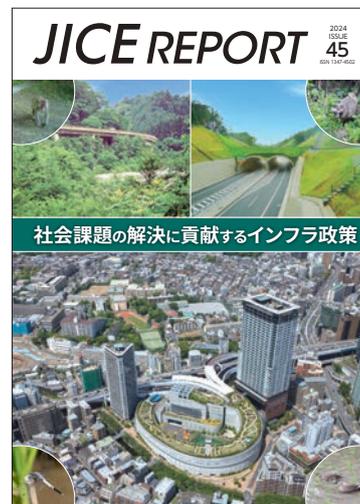
社会課題の解決に貢献するインフラ政策 ネイチャーポジティブに貢献するインフラ整備

2022年12月に開催された生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）などでネイチャーポジティブ*の方向性が新たな国際目標として示されたことを受け、日本では、「生物多様性国家戦略2023-2030」において、2030年までにネイチャーポジティブを達成するという目標の下、健全な生態系の確保などによる自然の恵みの維持回復などを目指しています。

道路分野では、1992年の地球サミットを契機として、良好な環境を創造する道路環境施策を体系的に推進することが始められ、「エコロード」などの野生動物が自動車に轢かれる死亡事故（ロードキル）対策などが取り組まれてきました。しかし、国土交通省によると、道路上で発生したロードキルは、令和4年度に直轄国道で約7万件、高速道路で約5.1万件発生しており、未だに健全な生態系を確保する上での課題となっています。

ネイチャーポジティブの観点を踏まえ、ロードキルなどの個別課題の対策は、道路空間と周辺の生態系全体を俯瞰した施策に転換することが求められています。道路分野に限らず、今後のインフラ整備において、ネイチャーポジティブは重要な視点・取組となりつつあります。

*ネイチャーポジティブとは、「自然再興」の意味で、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことを指す。



コンテンツ

JICEレポート45号について

研究報告

流域治水を“自分事”に ～持続的な推進のポイント～

長時間アンサンブル降雨予測を活用したハイブリッドダムの推進

道路分野におけるネイチャーポジティブの必要性和今後に向けた取組の提案

海外事例等を踏まえた自動物流道路の目指すべき姿について

安全で安心して暮らせる居住環境の実現に向けた建築物のバリアフリー化の推進

建設現場の脱炭素調達の必要性和排出量の算定手法の検討、今後の方向性

中小建設業のデジタル化の現状と今後の方向性

国土政策研究所 講演会

皆で運ぶ、物流の未来 ～NEXT Logistics Japan の挑戦～

NEXT Logistics Japan 株式会社 代表取締役社長 CEO / 梅村 幸生 氏

事業紹介・事業報告

今後の社会資本のあり方に関する懸賞論文（第2回）実施報告